

長池駅南側周辺整備 基本計画

【概要版】

令和4年9月



連絡先

都市整備部 都市政策課

TEL 0774 - 56 - 4057

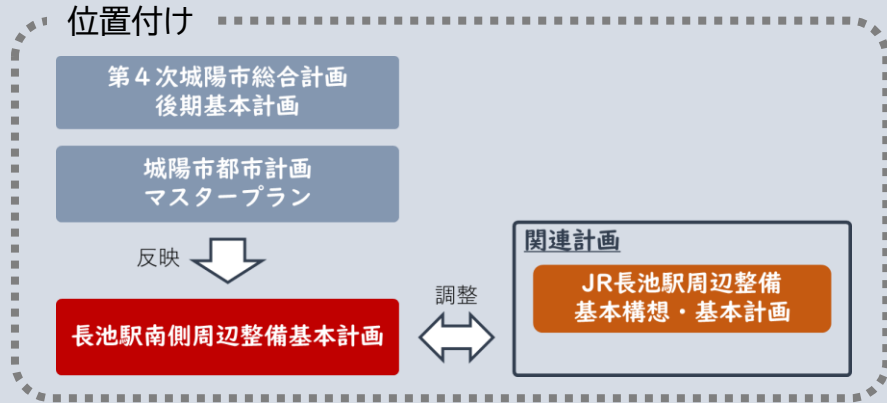
toshiseisaku@city.joyo.lg.jp

市HP

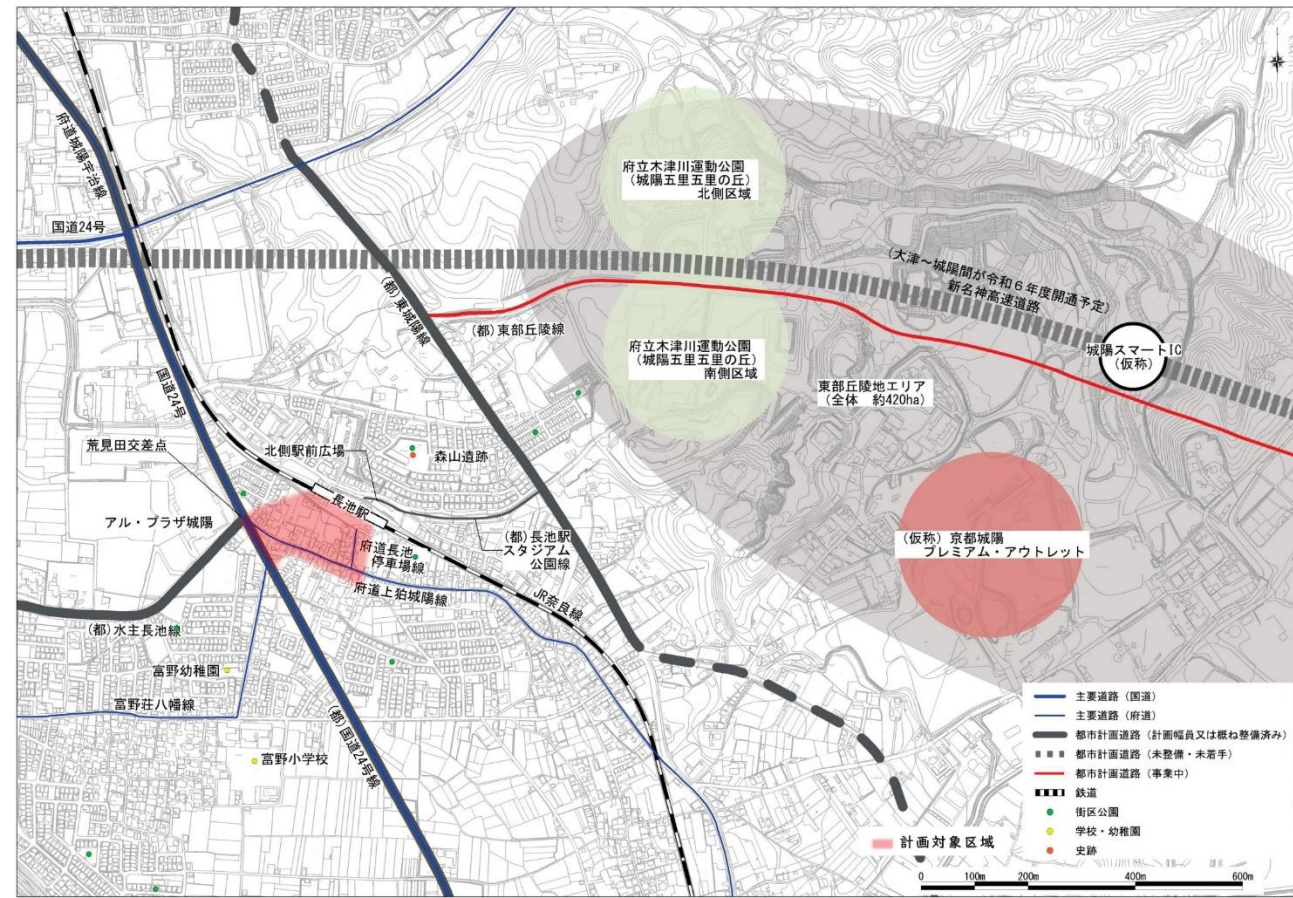


① 目的・対象区域

長池駅周辺においては、平成7年度に、当時無人駅であった長池駅周辺の駅前広場等が未整備の状況から、長期的なまちづくりの対応との整合を図りつつ、木津川右岸スタジアム公園（現府立木津川運動公園）整備への対応を図るため、JR長池駅周辺地域の新たな将来の都市像の実現に向けて、「JR長池駅周辺整備基本構想・基本計画」を策定しました。現在は、基本構想策定から26年が経過し、府立木津川運動公園南側区域の部分供用開始に併せた駅北側の整備が先行して進められ、公園へのアクセス道路となる都市計画道路長池駅スタジアム公園線や長池駅自由通路・橋上駅舎の整備が完了しています。



本計画は、今後進めていく駅南側の整備について、東部丘陵地の開発による（仮称）京都城陽プレミアム・アウトレットや府立木津川運動公園の整備が進むなど、基本構想策定当時と状況が大きく異なることから、見直しを行い、ハード面とソフト面の両面から、地域の課題解決、駅利用者や地域住民の生活利便機能の充実を目指し、策定します。



計画対象区域の東側には長池駅が玄関口となる東部丘陵地エリアがあります。東部丘陵地エリアでは、「第4次城陽市総合計画」において、新名神高速道路のスマートインターチェンジが設置されるなどの立地条件を生かして、新たな産業の創出・集積に向けたまちづくりを目指しています。

② 基本方針

地域の現状整理

- 人口、都市施設の状況
- 公共交通の利便性
- 歴史・文化・地域活動
- 駅まち空間

地域の調査分析

- 交通量調査
- アンケート調査（住民・駅利用者）

人と人がつながり 地域をはぐくむ 新たな長池宿

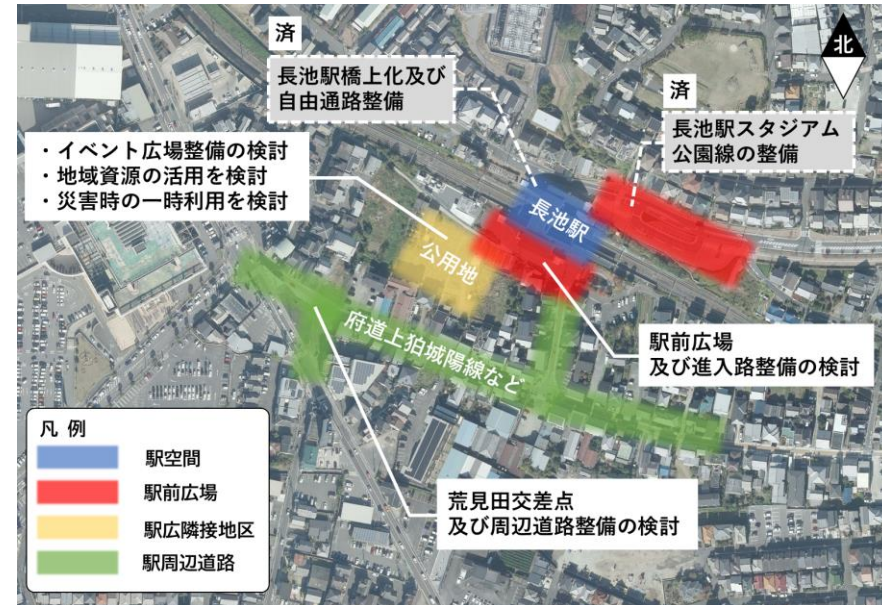
長池の魅力を引き出し **にぎわい**を創出する

地域住民が**安心安全**に暮らせるまちづくり

地域資源を活用した取組を推進する

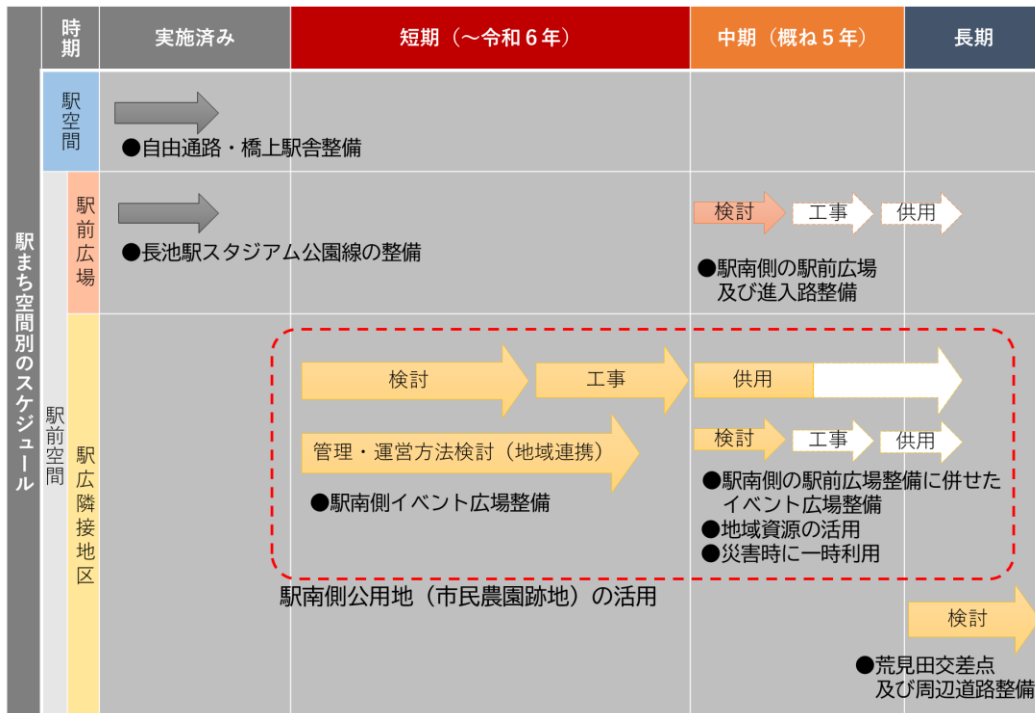
地域住民をはじめとした様々な人が集い、活動することのできる場所づくりに努めることで、長池地域に関わる人が増え、地域の魅力が広がり、住んでいる人が誇りを持てるまちづくりを目指します。

まちづくりの基本方針図



③ スケジュール・取組内容

取組内容は、段階的に展開することで、地域のまちづくりの機運を高めながら進めていくものとなっており、行政が主体的に実施するものや地域住民・事業者の取組を推進するものも含まれています。また、進捗状況や社会情勢の変化を踏まえて柔軟に対応することが重要となってきます。



今後、(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットや府立木津川運動公園の整備により、交流人口の増加が見込まれる長池地域では、まちの魅力増進を図ることが定住人口の維持や増加に繋がることと期待されます。そのため、**まずは短期的に駅南側の公用地を活用したにぎわいの創出**に取り組み、地域交流や活動が活発になる“きっかけ”をつくり、住んでみたいと思われる魅力あるまちづくりを進めていきます。



取組箇所の位置について

短期

令和6年度に予定されている新名神高速道路大津～城陽間の開通及び(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットの開業までを目標として、まずは、長池駅南側のにぎわい創出に取り組みます。

中期

(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットの開業をはじめとした東部丘陵地エリアの開発が進んだ長池地域では、交通や人流に大きな変動が起きると考えられます。中期計画では、この変動に合わせた検討を行い、必要に応じて駅周辺の整備に取り組みます。

長期

広域的な交通網を視野に入れ、その時点の社会情勢や課題に合わせたまちづくりの検討を行います。